

不安を解消し、
安全な移動環境を
つくる

安心・安全

超☆連休直前
駆け込み
GET!

ここでは、ロングドライブの「安全」と「安心」について考えてみよう。
トラブルを避けるためにどうすればいいか？
まずはトラブルの原因となりがちな消耗品のチェックからだ。

長旅ゆえの備えとして考える消耗品 バッテリー&エンジンオイル

バッテリー

アイドリングストップ車にも対応

オートバックスから新たに発売されたバッテリーシリーズの「GAIA(ガイア)」。アイドリングストップ車も含めて幅広い国産車に対応する。グレードはベーシックな「ブロンズ」、ミドルクラスの「シルバー」、上級の「ゴールド」、そしてアイドリングストップ車専用の「プラチナ」の4タイプを設定。保証期間はタイプにより異なり、「ブロンズ」は2年または2万km、もっとも長い「ゴールド」では3年走行距離無制限と心強い。

AUTOBACS

GAIA ブロンズ/シルバー/ゴールド/プラチナ

価格：5999円～3万4999円

※ オートバックスお客様相談センター ☎0120-454-771

<https://www.autobacs.com>



JAFの出動理由で多い
バッテリートラブル

日常生活でも大切な「安心」と「安全」だが、ロングドライブになればその重要性はさらに増してくる。なぜなら、ロングドライブになればなるほどアクシデントが移動行程に与えるダメージが大きくなるからだ。単純な話だが、家の近所であればクルマが止まっても大問題にはならないが、ロング

ドライブ中に家から3時間もかかるような場所でもクルマがトラブルを起こして止まったら目も当てられない。修理はどうするのか？ その後の移動手段はどうするのか？ そもそも移動を続けられるのか？ 問題ばかりが発生し、うんざりすることだろう。ではどうすればいいか。話は簡単である。ドライブ中にクルマがトラブルを起こしそうな不安要因をできるだけ取り除くことだ。

意外かもしれないが、JAFの調査によると2018年度の上半期でもっとも多かった救援依頼内容は「バッテリー上がり(過放電)」。ライトの消し忘れでしょ？と解釈しがちだが、実は高速道路での救援依頼でも「過放電バッテリー」は4位になっているのだ。つまり、走行中でもバッテリー

上がりは起こりえるのである。走行中にバッテリーが過放電となる理由は、発電量と電気使用量の不釣り合い。つまり電気を使いすぎて、発電とバッテリーの能力を超えてしまっているのだ。特に、エンジン回転が上がらない渋滞中などでブレーキランプやワイパーとともにエアコンを使うと、バッテリーの不釣り合いによる過放電になりやすい。

そして知っておくべきは、バッテリーの能力が落ちるとバッテリーが上がりやすくなることである。十分な電気を蓄えられなくなるからだ。だから、バッテリーを交換せず、に使い続けているのであれば、ロングドライブの前には思い切ってバッテリーを新品に交換することをお勧めする。

記念すべき年だからこそ
連休の旅路も思い出深く！
後々ガッカリしないためにも
充実した旅を演出する
お役立ちグッズを今すぐチェック!!